

平成 21 年度
(第 30 期事業年度)
事業報告書

社団法人日本食品・バイオ知的財産権センター

平成21年度(第30期事業年度)事業報告

社団法人 日本食品・バイオ知的財産権センター

事業報告

1. 委員会活動について

(1) 特許委員会

大森 仁	委員長	東洋製罐(株)	新任
鳥井 弘隆	副委員長	プリマハム(株)	重任
仲本 光利	副委員長	伊藤ハム(株)	重任
細見 和雄	副委員長	(株)ロッテ	新任
越膳 浩	副委員長	明治乳業(株)	新任

委員： 79 社、 18 特許法律事務所、 177 名

4月17日 13:00~17:00 東洋製罐 本社ビル 42社、2特許法律事務所、52名

特許委員会総会

- ・委員長挨拶
- ・専務理事挨拶
- ・優秀発明推薦委員会山下委員長より各賞の内容説明と推薦依頼
- ・関西委員会委員長より平成20年度活動報告及び平成21年度活動計画説明
- ・平成20年度活動報告・会計報告
- ・新規加入会員紹介
- ・新役員選任及び新委員長、新副委員長挨拶
- ・平成21年度活動計画説明
- ・グループ編成についてリーダー、サブリーダーの選出が行なわれた。

第1グループ：グループリーダー	三好 健太郎(ヤマサ醤油(株))	新任
サブリーダー	藤原 靖士(ハウス食品(株))	新任
第2グループ：グループリーダー	櫻田 賢(森永製菓(株))	重任
サブリーダー	高橋 惣治(エスビー食品(株))	新任
第3グループ：グループリーダー	貝田 純(花王(株))	新任
サブリーダー	坂田 純一郎(株)A D E K A)	新任
第4グループ：グループリーダー	杉山 峰雄(株)ポッカコーポレーション)	新任
サブリーダー	井出 浩(小野国際特許事務所)	新任
第5グループ：グループリーダー	梶 成弘(株)ニチレイ)	新任
サブリーダー	大島 道史(森永乳業(株))	新任

- ・特許庁特許審査第三部生命工学 今村審査監理官ご挨拶・ご講演

(1) 特許庁の現状及び出願人への要望について

(2) 最近のトピックスについて

「審査請求料の納付繰り延べ制度、特許審査ハイウェイ、JP-FIRST、等」
・最後に東洋製罐のパッケージングルームの見学を実施

6月26日 14:00~16:00 21社、22名

特許庁見学会

・特許庁総務課広報班 佐藤班長、坂本係長の案内で特許庁見学会を行った。はじめに産業財産権制度の概要、特許庁の組織図など、詳細な説明を受けたあと、2班に分かれて(独)工業所有権情報・研修館(特許庁2階) 特許審査及び商標審査に関する説明を受けた。また、16階の審判廷を見学し、特許庁の取り組み等、通常では見られないものなど説明があり、各社の知財部員にとって大変勉強になり、本年も好評であった。

9月17日 14:00~17:00 駐健保会館 43社、3特許法律事務所 60名

特許庁審判部との連絡協議会

・特許庁審判部第22部門 鶴飼健部門長、審判部審判企画室 佐藤智康室長、同企画室 遠藤秀明課長補佐、同企画室 西出隆二係長をお迎えし、「審判の現状と課題について」、及び「平成20年度特許性検討会におけるバイオ関連審判決について」ご講演を頂いた。

10月19日~20日 品川区立総合区民会館 きゅりあん 29社、70名

特許講座

講師： 工藤 力氏 当センター参与

・1日目は工藤参与より明細書を作成する上での基礎知識について講義いただき、そのあと発明の発掘のポイント、クレームや明細書の記載内容に関する留意点等について実例を踏まえて解説していただいた。午後からは論文「カプロン酸エチル高生産株を用いたリンゴ搾り粕からのフレーバーアルコール生産」の内容を各自検討し、発明発掘シートに発明のポイントを記入する実習が行なわれた。受講者は1グループ4~6名ずつの計14グループに分かれ学習した。2日目は「特許請求の範囲」を作成するグループ実習を行い、午後からは2つのグループが1つのテーブルに対峙して座り、「特許請求の範囲」について意見交換する「しゃべり場」を開催し、活発な議論がなされた。その後、講師からのまとめの講義があった。

11月12日 15:00~18:00 駐健保会館 42社、5特許法律事務所 65名

特許庁審査部との連絡協議会

特許庁講師：特許庁審査第三部生命工学審査監理官
食品・微生物室長、上席総括審査官
生命工学主任審査官

今村 玲英子氏
富士 良宏氏
渡邊 潤也氏

生命工学審査官補

伊藤 佑一氏

生命工学審査官補

小川 明日香氏

総務部企画調査課係長

一宮 里枝氏

演題 1 . 「特許庁の取り組み・現状」について

講師：今村 玲英子氏

演題 2 . 「審査基準専門委員会での進歩性の判断」について

講師：小川 明日香氏

演題 3 . 「医薬の審査基準」について

講師：伊藤 佑一氏

演題 4 . 「特許審査ハイウェイ」について

講師：富士 良宏氏

演題 5 . 「特許戦略ポータルサイト」について

講師：一宮 里枝氏

事前質問についてのご回答

講師：渡邊 潤也氏

また、JAFBIC 会員から、生化学工業(株)堀口氏より「JAFBIC 特許委員会活動について」、日清オイリオグループ(株)生稲氏より「特許検索・特許戦略ポータルサイトに関するアンケート集計結果について」の報告があった。

12月10日～12月11日 富山県魚津市 金太郎温泉 31社、4特許法律事務所、39名
関東・関西合同特許委員会

1 . 講演会

演題：「YKKのビジネスモデルと知財戦略について」

講師：YKK株式会社 グループ法務・知財センター

知的財産グループ長 永安 孝志氏

内容：YKK独自のビジネス展開戦略について、事例を含めて多岐にわたって説明があり、特にYKK事業の基本理念である「善の巡環」について、詳しい説明をして頂いた。

2 . 施設見学会：YKK株式会社 黒部工場

創業当初のファスニング事業から今日までの展開を時系列的に展示した「丸屋根資料館」、創業者の功績を記念した「吉田忠雄記念館」、さらに「ファスナー工場」、「アルミ建材工場」も見学させて頂いた。

2月23日～24日 品川区立総合区民会館 きゅりあん 34社、72名

特許講座

講師： 工藤 力氏 当センター参与

・前回(10月19日～20日)と同様に講演・実習が行なわれた。

3月5日 13:00～18:00 日清食品ホールディングス(株) イベントホール

47社、5特許法律事務所、98名

特別研究部会・研究成果発表会

・日清食品ホールディングス(株) 知的財産部長 加藤正樹氏、及び大森委員長から挨拶があり、そのあと各部会より、部会紹介のあと研究テーマにつき詳細な発表があった。

1. 特許管理研究部会

サントリーホールディングス(株) 前川 知浩氏より部会紹介

- ・「研究開発部門に向けての知的財産情報の見える化及びその手法」

大塚製薬工場(株) 吉成 崇氏

2. 特許法研究部会

アサヒ飲料(株) 山藤 裕氏より部会紹介

- ・「最新判例の分析と動向について」

キューピー(株) 石川 範行氏

日本食品化工(株) 山崎 孝氏

曾田香料(株) 笹野 久美氏

明治製菓(株) 小平 明洋氏

3. バイオ特許研究部会

アサヒビール(株) 渡辺 元氏より部会紹介

- ・「CAFC 判決 In re kubin ~ バイオ分野における KSR 最高裁判決の適用」

秀和特許事務所 佐貫 伸一氏

4. 特許情報研究部会

アサヒビール(株) 大林 英之氏より部会紹介

- ・「検索事例研究」

キッコーマン(株) 西村 一路氏

- ・「特許分析事例」

キューピー(株) 奥山 洋平氏

月桂冠(株) 福田 克治氏

(株) ニチレイプロサーヴ 櫛 成弘氏

5. 用途発明研究部会

- ・「機能性食品等に関連する用途発明の保護の在り方の検討」

味の素(株) 堀田 正幸氏

[特許委員会ニュース] 第 239 号 (4 月 1 日) ~ 第 250 号 (3 月 1 日) まで発行

(2) 意匠委員会

古越 理 委員長 キューピー(株) 重任

矢崎 和彦 副委員長 協和特許法律事務所 重任

田畑 正夫 顧問 重任

池田 泉 顧問 重任

委員 22 社、 6 特許事務所 42 名

1 月 18 日 13 : 30 ~ 16 : 30 男女平等参画センター 14 社、 2 特許法律事務所、 23 名
講演会

講演 1 : 「最近の審判決からみた意匠の類似等について」

講師 : (社) 日本デザイン保護協会 専務理事

日比野 香氏

講演 2 : 「中国特許法第 3 次改正（意匠関連部分）について」

講師：(社)日本食品・バイオ知的財産権センター 専務理事 酒井 孝成氏

2月15日 14:00~17:00 特許庁地下1階共用会議室、7階デモスペース

10社、4特許法律事務所、20名

特許庁意匠課との連絡協議会

最初に、特許庁地下1階共用会議室にて審査業務部意匠課長 川崎芳孝氏よりご挨拶を頂いたあと、意匠審査基準室 山永滋氏の進行で連絡協議会を開催した。

講演：「意匠制度の近況とデザイン戦略及び意匠権活用」

講師：特許庁審査業務部意匠課 生活用品審査長 温品 博康氏
企画調査班長 浅野 雄一郎氏
身の回り品及び販売用品審査官 久保田 麻里氏

その後、当センターからの事前質問に対してご回答いただき、さらにそのあと、7階審査室に移動して、2班に分かれ、審査デモンストレーションを見学した。

(3) 商標委員会

鈴木 英之	委員長	キッコーマン(株)	重任
富田 裕子	副委員長	カルビー(株)	重任
竹島 秀明	副委員長	協和発酵キリン(株)	重任
柏原 歩	副委員長	トムソン・ロイター・プロフェッショナル(株)	重任
大本 典正	副委員長	日清オイリオグループ(株)	重任
長谷川 智紀	副委員長	森永製菓(株)	新任
鈴木 隆之	副委員長	(株)ヤクルト本社	新任

委員 91社、 11特許法律事務所、 177名

4月20日 14:00~17:00 港勤労福祉会館 40社、1特許事務所、59名

商標委員会総会

- ・平成20年度商標委員会活動報告、平成20年度会計報告について
- ・平成21年度正副委員長選出
- ・平成21年度活動計画について
- ・「『類似商品・役務審査基準』における商品・役務の類否関係の見直しに係る諸問題についての調査研究」委員会の出席報告 (株)日清製粉グループ本社 小根山氏)
- ・商標実務研究部会及び海外商標実務研究部会からの成果発表

(1) 商標実務研究部会

「平成20年度活動報告について」	サントリーホールディングス(株)	山本氏
	森永乳業(株)	菅原氏
	(株)ニチレイプロサーヴ	和智氏

「平成 21 年度活動案内説明」	ハウス食品(株) 日本ハム(株)	和泉氏 天本氏
(2) 海外商標実務研究部会		
「平成 20 年度活動報告」	(株)ミツカングループ本社	齋藤氏
「食品企業における知財（法務）部署とドメイン管理について」	(株)ヤクルト本社	鈴木氏
「Mizkan Group と商標について」	(株)ミツカングループ本社	齋藤氏

7月9日 14:00～17:10 日清食品ホールディングス（イベントホール）
52社、2特許法律事務所、82名

講演会：「キャラクターの利用における実務上の注意点」

講師：高田国際特許事務所 弁理士 高田 修治氏

内容：キャラクターを商業的に利用すること、いわゆる「キャラクター・マーチャ
ンダイジング」について、著作権、パブリシティ権、商標権、不正競争防止法
による保護等の権利が複雑にからみ、事例も少なく、担当者も不慣れで、問題
が生じやすい。そこで、この「キャラクター・マーチャダイジング」につい
て、事例の紹介と共に、取り扱う場合の注意点等の観点からご講演を頂いた。

10月2日 特許庁 19社、21名

特許庁見学会

総務部総務課広報班、佐藤課長補佐の案内のもとに、16階の審判廷で特許庁の組織、
審査・審判の流れ、特許審査の内容等の説明を受けた後、2班に分かれて、工業所有権
情報・研修館（特許庁2F）商標審査室及び審判廷を見学した。

10月29日～30日 富山県 宇奈月グランドホテル 32社、1特許法律事務所、40名

関東・関西合同商標委員会

1. 講演会

演題：「YKKグループにおける商標管理及び模倣対策」（事業価値の確立とブラ
ンド価値の確立）

講師：YKK株式会社 グループ法務・知財センター 知的財産グループ
商標チームリーダー 小川 仁氏

内容：「YKKグループの概要」、「YKK知財方針・組織」、「商標管理」及び「模
倣対策」についてご講演頂いた。

演題：「知的経営に資するブランドの考え方」

講師：ビーエルエム弁理士事務所 弁理士 吉澤 和希子氏

内容：「ブランドの提供価値について、自社の理念やビジョンを背景に顧客・競合・
自社等の状況について検討し、顧客が期待するようにコンセプト創造がなさ

れ、顧客の期待に応えることにより信用を得て、関係を形成することがブランド価値の源泉になる。」との基本的なブランド概念を詳しくご講演頂いた。

2. 活動報告

鈴木英之委員長より下記の報告があった。

第28回準備作業部会に向けてニース国際分類の改正提案について

産業構造審議会知的財産政策部会商標制度小委員会会議報告

平成21年度商標出願動向調査について

また関西委員会の林健太郎商標グループリーダーより、同グループの活動報告があった。

3. 施設見学

YKK(株)黒部工場、(株)生産技術のロボットミュージアムを見学した。

12月21日 14:00～17:30 日清食品ホールディングス(株)イベントホール

50社、4特許法律事務所、82名

特許庁審査業務部との連絡協議会

特許庁講師：特許庁審査業務部 商標課	食品審査室室長	大橋 信彦氏
	商標国際分類管理室長	平山 啓子氏
	先任上席審査官（食品）	大森 健司氏
	審査官（食品）	守屋 友宏氏

(1) 食品審査の状況について

食品審査室の審査体制

出願状況

(2) 地域団体商標の出願状況について

(3) 「不使用商標対策」について

(4) 「最近のトピックス」について

(5) 事前質問への回答について

(6) 国際関係の動きについて

また、JAFBIC 会員から、味の素(株) 大國 寿香氏、サントリーホールディングス(株) 鈴木 弦氏、明治製菓(株) 石井 敦氏が各社の商標実務の実態について説明した。

2月26日 14:00～17:00 港勤労福祉会館 42社、2特許法律事務所、55名

講演会：「商標の使用（実務上の注意点を中心として）」

講師：大野総合法律事務所

弁理士 中村 仁氏

内容：商標の使用とはなにかを、過去の不使用取消審判の審決や判例等を交えて分かり易くご講演を頂いた。

商標実務研究部会

5月15日 14:00～17:00 三田福祉会館 31社、2特許法律事務所、39名

- ・本年度運営方針決定：部会の進め方及び議題の検討
メンバー間のコミュニケーションと各自のレベル向上を図ることを目的とし、参加者を4グループに分け、活動を進めることとし、また、幹事が参加者の要望を集約し、検討した上で、各回の研究テーマを決定することとした。

7月30日 14:00～17:00 男女平等参画センター 25社、2特許法律事務所、33名

- ・討議事項：グループワーク形式で「略語」を用いたネーミングについて、商品企画者の立場で、食品のネーミングに求める機能と商標としての識別力について議論した。
- ・お悩み相談：「キャッチフレーズ」について相談があり、参加各社のキャッチフレーズの取り扱いについて発表しながら討議した。

9月30日 14:00～17:00 男女平等参画センター 20社、2特許法律事務所、25名

- ・討議事項：グループワーク形式で、審決における類否判断の根拠として常用されている「一体不可分」の語句について議論した。
- ・お悩み相談：「識別力が明白でない商標に対する判断」について、参加各社の対応方法を討議した。

11月19日 芝公園福祉会館 36社、3特許事務所、44名

東薬工商標部会との交流会

1. JAFBICからの問題提起
「いわゆる健康食品」と「医薬部外品」の取り扱い状況と今後の取り扱いについて参加各社で討議した。
2. 東薬工商標部会からの問題提起
「図形商標の類否判断」について、マークの種類ごとに、類否判断を議論した。

1月29日 14:00～17:00 三田福祉会館 22社、1特許法律事務所、29名

- ・参加各社の商標実務上の「お悩み」について、グループワークとして、グループ内で検討してもらい、結果を部会にて発表する「お悩み相談タイム」を実施した。内容は、「商標調査方法」、「使用データベース」、「商標の識別力」、「商標の類否判断」等幅広く討議した。

海外商標実務研究部会

6月5日 14:00～17:00 芝公園福祉会館 21社、3特許法律事務所、27名

1. 平成20年度の活動報告及び会計報告

2. 「米国異議申立案件に関する事例発表」 明星食品(株) 片野氏
「中国商標法第3次改正案(概要)について」村橋商標特許事務所 村橋氏

3. 海外商標実務の事例紹介

事前に、各社から報告があり、意見交換を行なった。紹介の方法として、出願時、中間処理時、登録後及びその他に分けて討論した。

8月24日 15:00~17:00 三田福祉会館 21社、3特許法律事務所、26名
(話題提供の事例が多いため、臨時部会として開催した)

1. 中国における模倣品対策例の発表 (株)ヤクルト本社 鈴木氏
2. 海外商標実務の事例紹介

事前に、各社から報告があり、意見交換を行なった。出願時(インド他3カ国)、中間処理時(ロシア)、登録後及びその他(ブラジル、中国)に分け、国別の状況について討論した。

11月27日 14:00~17:00 男女平等参画センター 19社、3特許法律事務所、22名

1. 海外商標実務の事例紹介

出願時、中間処理時、登録後及びその他について、情報紹介と意見交換を実施した。

3月12日 13:00~17:00 岡崎セントラルホテル(愛知県岡崎市)
17社、3特許法律事務所、20名

1. 工場見学:(資)八丁味噌、(株)まるや八丁味噌
2. 部会:「海外における日本語商標の権利化」に関する事例紹介

(4) 関西委員会

齋藤 岳之	委員長	(株)ミツカングループ本社	重任
西岡 浩二	副委員長	(株)マークアイ	新任
加藤 正樹	顧問	日清食品ホールディングス(株)	重任
青木 良彦	顧問	大関(株)	重任
委員	特許グループ	39社、67名:リーダー	宮部 正明 (不二製油(株))
	商標グループ	55社、93名:リーダー	林 健太郎 (白鶴酒造(株))

4月10日 13:50~17:00 ドーンセンター 26社、1特許法律事務所 41名

関西委員会総会

- ・平成20年度活動報告並びに会計報告
- ・平成21年度活動計画
- ・役員改選:委員長、副委員長を上記のとおり選任し、上記リーダーに加えて各グル

ープのサブリーダーを次のとおり選任した。

- ・特許グループ サブリーダー 本田 将大 (江崎グリコ株) 新任
 - サブリーダー 原 史子 (株カネカ) 新任
 - ・商標グループ サブリーダー 山本 規代 (株ポッカコーポレーション) 重任
 - サブリーダー 北条 知子 (大関株) 新任
- ・齋藤委員長の挨拶後、酒井専務理事から挨拶があり、JAFBIC の財務状況などの説明があった。
- ・講演会：「中国の模倣品被害と対策」
講 師：弁護士法人フラレン 弁護士・弁理士 谷口 由記氏

7月24日 14:00～17:00 大阪市中央公会堂 29社、1特許法律事務所 54名

特許・商標グループ合同委員会

- ・講演会：「知的財産の活かし方」
講 師：柳野国際特許事務所 弁理士 柳野 隆生氏

9月4日 13:30～16:50 ドーンセンター 36社、46名

委員会 (商標グループ)

- ・関西委員会商標研究会が過去1年間に発表したテーマの内、下記の3テーマにつき説明があった。
 - (1) 「商標『PREMIUM』及び『プレミアム』について」
発表者：日本ハム株 土田 一耀氏
 - (2) 「使用中の名称を第三者に商標登録されてしまった場合の対処について」
発表者：(株)ポッカコーポレーション 山本 規代氏
 - (3) 「知財担当者に優しいブランド話」
発表者：(株)ミツカングループ本社 齋藤 岳之氏
- ・特別講演：「法務業務のありかた」 江崎グリコ株 古池 俊彦氏

9月16日 14:00～17:00 (株)カネカ 18社、1特許事務所、26名

委員会 (特許グループ)

- ・特別研究グループの研究成果の説明会
 - (1) 特許委員会と各研究部会の概要説明 (特許委員会委員長)
東洋製罐株 大森 仁氏
 - (2) バイオ研究部会研究成果紹介 伊藤ハム株 仲本 光利氏
 - (3) 用途発明研究部会の昨年度活動報告 大塚製菓株 宮田 恵子氏
- ・講演会：「特許審査の現状」
講 師：八木国際特許事務所 弁理士 八木 敏安氏

10月29日～30日 富山県 宇奈月グランドホテル 32社、1特許法律事務所、40名
関東・関西合同商標委員会
(内容は商標委員会と同じ)

12月10日～12月11日 富山県魚津市 金太郎温泉 31社、4特許法律事務所、39名
関東・関西合同特許委員会
(内容は特許委員会と同じ)

1月15日 14:00～17:00 ドーンセンター 33社、1特許事務所、45名
特許・商標グループ合同委員会
講演会：「知的財産の価値評価手法及びその評価事例について」
講師：原謙三国際特許事務所 弁理士 長谷川 和哉氏
内容：知的財産の適正な価値評価について、評価の必要性と基本的な評価手法を
具体的な事例を挙げて解説を頂いた。

2月4日 14:00～17:30 ドーンセンター 16社、26名
特許庁審査部との連絡協議会
特許庁講師：特許庁審査第三部生命工学
食品・微生物室長 上席総括審査官 富士 良宏氏
審査官 佐藤 巖氏

演題1.「特許庁の取り組み現状について」
演題2.「特許審査ハイウェイについて」
演題3.「審査基準専門委員会での進歩性判断について」
演題4.「医薬の審査基準について」
・その他、事前に集約した質問事項への回答もいただいた。

3月4日 14:00～17:00 ドーンセンター 24社、1特許事務所、26名
特許庁審査業務部との連絡協議会
特許庁講師：特許庁審査業務部商標課 前任上席審査官(食品) 大森 健司氏
審査業務部商標課 地域団体商標・小売等役務商標推進室審査官 真鍋 伸行氏
演題：「商標行政を巡る最近の動向」について
商標出願動向について
商標審査を巡る現状
地域団体商標の現状
商標早期審査の対象拡大
新しいタイプの商標への取り組み
審査に関する基準・便覧の見直し等

国際関係の動き

国際関係の動き（WIPOでの議論）

・その他、事前質問への回答もいただいた。

・そのあと、JAFBIC 会員から、白鶴酒造(株)、(株)カネカ、江崎グリコ(株)の担当者が食品業界の商標実務について事例紹介した。

(5) 模倣品対策委員会

野方 健一郎	委員長	(株)ヤクルト本社	重任
竹本 一志	副委員長	サントリーホールディングス(株)	重任
委員	19社、4特許法律事務所、	31名	

5月14日 14:00～17:00 男女平等参画センター 18社、1特許法律事務所 24名
総会、講演会

平成20年度活動報告及び平成21年度活動計画説明

講演会：「最近の国内外における模倣品対策事情と課題」

講師：経済産業省製造産業局 模倣品対策・通商室 製造産業専門官 塩澤 正和氏

3月26日 14:30～16:30 港区生涯学習センター 14社、1特許法律事務所 17名
講演会：「中国における最新の模倣品問題の実情」

講師：北京集佳知識産権代理有限公司 パートナー 弁理士 経 志強氏

2. 食品・バイオに係る知的財産権に関する資料の収集及び提供

(1) 商標出願抄録速報の提供と閲覧業務

A 平成21年度商標速報（商品）提供数
152組（前年155組）

B 平成21年度商標速報（役務）提供数
13組（前年13組）

C 調査依頼 会員より指定商品等調査 1件

(2) 食品・バイオ技術情報の提供

平成21年度提供数 会員33組、非会員5組、計38組（前年40組）

(3) 特許公報抄録集の提供

平成21年度提供数

会員11組、計11組（前年11組）

(4) 会報「食品特許」の提供

会報編集委員会： 中村 宣夫 委員長 日本水産(株)

平成21年度提供数

5,6月号 290冊

7,8月号	289冊
9,10月号	291冊
11,12月号	292冊
1,2月号	297冊
3,4月号	297冊

編集委員会（会報編集、出版のため隔月、各号毎にセンター会議室にて開催）

（５）「拒絶文字商標集」、「食品商標審決抄録集」の提供

拒絶文字商標集：平成21年度提供数 冊子9巻 1冊

食品商標審決抄録集：平成21年度提供数 会員34冊、非会員11冊 計45冊

（内第1巻6冊、第2巻39冊、別途第2巻CD 25枚）

3. 食品・バイオに係る知的財産権に関する講演会の開催

講演会準備委員会：尾上 光宏 委員長 東洋水産(株)

第1回：「発明の日」記念講演会

日時：4月21日 14:00～16:30

場所：港勤労福祉会館（港区）

テーマ：「欧州特許庁における機能性食品の特許取得について」

講師：ミュンヘンエリス特許事務所 欧州特許弁理士 クリス・デニソン氏

参加者：36社、53名

第2回：講演会

日時：7月27日 14:30～16:45

場所：芝公園福祉会館（港区）

テーマ：「特許関係訴訟 運用と課題」

講師：知的財産高等裁判所 判事 高部 眞規子氏

参加者：36社、50名

第3回：講演会

日時：1月14日 14:00～17:00

場所：日清食品ホールディングス(株) イベントホール（新宿区）

テーマ：「デジタル文化活動とユーザーの創造性」 著作権法への挑戦

講師：同志社大学経済学部 経済学研究科教授 河島 伸子氏

参加者：23社、27名

4. 食品・バイオに係る知的財産権に関する指導相談

平成21年度

(1) 商標の特別顕著性の有無	1件
(2) 既登録商標（先願商標）の有無	27件
(3) その他（特・実）	8件

5 . 食品・バイオに係る知的財産権に関する紛争解決の相談

平成 21 年度は特に明記する相談はなかった。

6 . 食品・バイオに係る知的財産権に関する行政に対する協力

普及企画委員会： 古池 俊彦 委員長 江崎グリコ(株)

(1) 産業構造審議会 知的財産政策部会 商標制度小委員会 委員派遣

本年度も特許庁より「産業構造審議会 知的財産政策部会 商標制度小委員会(委員長：土肥一史 一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授)」への委員派遣を依頼され、商標委員長 鈴木英之氏(キッコーマン(株))を引き続き委員として派遣した。派遣を許可いただいたキッコーマン(株)様に感謝いたします。

(2) 特許庁審判部主催 特許性検討会 委員派遣

特許庁審判部では本年度も昨年度に引き続き特許性検討会が開催されることとなり、本年度も当センターから委員を派遣するよう要請があった。募集により、堀口努氏(生化学工業(株))を委員として派遣した。派遣を許可いただいた生化学工業(株)様に感謝いたします。

7 . 優秀発明の推薦

優秀発明推薦委員会： 山下 勉 委員長 アスピオファーマ(株)

(1) 平成 22 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞の受賞候補者の推薦

特許委員会にて候補者推薦を依頼し、また会員各社、理事各位にも推薦を依頼し、1 件の推薦依頼があり、特許庁経由で文部科学省に推薦した。(その結果、森永乳業(株) 高瀬 光徳氏が文部科学大臣表彰を受賞した。)

(2) 平成 21 年度 食創会 安藤百福賞受賞候補者の推薦

特許委員会にて候補者推薦を依頼し、また会員各社、理事各位にも推薦を依頼し、1 件の推薦依頼があり、食創会に推薦したが、残念ながら受賞には至らなかった。

8 . 公益法人改革に伴う当センター公益法人化への取り組み

当センターが、公益社団法人化または一般社団法人化のいずれを目指すべきか、検討を加えてきた。公益財団法人 公益法人協会に加入し、相談したところ、一般社団法人への移行を示唆されている。具体的な方向については今後、特許庁とも相談しながら進めていく。

9 . 産学連携による知的財産支援業務

平成 21 年度の新たな活動として、理事長の総指揮のもと、1 名の専任者を採用し取り

組んできた。これまでに、岩手県の食品企業数社及び県庁、市役所、商工会議所等にコ
ンタクトし、推進したが、昨今の経済情勢から、成約までには至らなかった。

10．会員の入退会状況

入退会	入退会数	区 分	会社・事務所名	所在地
入 会	1	正会員	(株)東洋新薬	佐賀県鳥栖市
入 会	1	賛助会員	IP-Pro(株)	大阪府吹田市
	2	"	市之瀬・相原特許事務所	東京都調布市
	3	"	小笠原特許事務所	大阪府吹田市
	4	"	ユアサハラ法律特許事務所	東京都千代田区
	5	"	柴原聖至（個人会員）	東京都町田市
	6	"	クレイア特許事務所	大阪府大阪市
	7	"	深見特許事務所	大阪府大阪市
	8	"	月島食品工業(株)	東京都江戸川区
	9	"	オンダ国際特許事務所	岐阜県岐阜市
	10	"	有古特許事務所	兵庫県神戸市
	11	"	志賀国際特許事務所	東京都千代田区
退 会	1	正会員	(株)榮太樓總本舗	
	2	"	サニーヘルス(株)	
	3	"	日本デルモンテ(株)	
	4	"	富士フィルム(株)	
	5	"	ミヨシ油脂(株)	
退 会	1	賛助会員	(株)ニムラ・ジェネティック・ ソリューションズ	

平成 21 年度 会員数

		正会員	賛助会員	計
平成 20 年度末	会員数	1 4 3	6 0	2 0 3
平成 21 年度	入 会	1	1 1	1 2
	退 会	- 5	- 1	- 6
平成 22 年 3 月 31 日	現 在	正会員 1 3 9	賛助会員 7 0	計 2 0 9

11．その他（平成 21 年度）

1．4 月 17 日 特許庁 発明の日記念シンポジウム・知財功労者表彰式・記念レセプシ

ョンがグランドプリンスホテル赤坂にて開催され、当センター推薦の不二製油㈱様が特許活用優良企業として、経済産業大臣表彰を受賞された。表彰式には、理事長、専務理事が出席した。

- 2 . 5月25日 社団法人日本食品・バイオ知的財産権センター第29回通常総会がメルパルク東京にて開催され、平成21年度事業が開始された。
- 3 . 4月24日 社団法人日本食品・バイオ知的財産権センター平成21年度 第1回理事会をメルパルク東京にて開催した。
5月25日 同第2回理事会を総会開催中に新役員選出のために開催した。
10月22日 同第3回理事会を湯河原大滝ホテルにて開催した。
2月26日 同第4回理事会をメルパルク東京にて開催した。
- 4 . 特許庁へ公益法人経営指標の計算書を提出した。平成20年度内部留保率は37%となった。(特許庁基準は30%)
- 5 . 6月7日 東京理科大学知的財産戦略専攻シンポジウムに当センターが後援した。
- 6 . 8月31日、3月9日開催の(社)日本デザイン保護協会セミナーに当センターが協賛した。
- 7 . 11月6日新橋福祉会館にて、中華人民共和国国家知識産権局審査官及び同復審委員会の審判官総勢25名の方々と当センターとの交流会を開催した。

以上